



熊本市地球温暖化防止活動推進員って、どんな人?

熊本市地球温暖化防止活動推進員(以下「推進員」という。)とは、地球温暖化対策の推進に関する法律第37条に基づき熊本市から委嘱され、地域のリーダーとして地球温暖化の現状や温暖化対策の重要性などについて住民の皆さんの理解を深め、温暖化対策の普及啓発活動に取り組んでいる方のことです。

推進員は、日ごろから本市や熊本市地球温暖化防止活動推進センター(以下「市推進センター」という。)と連携しながら、一人一人の専門分野や得意分野を生かし活動しています。現在4期目で13名の推進員がいらっしやいます。

推進員の活動の一部を紹介します

1 温暖化防止の普及啓発に向けた教材づくり



市推進センターと共同で小学生向け学習教材となるパンフレット「COOL CHOICEくまもとクールチョイス隊」を作りました。

小学生学習パンフレット「くまもとクールチョイス隊」

2 地域における環境啓発活動や出前講座の実施



シニア向け講座を開催

自分の住む地域での普及啓発活動や環境啓発イベントへの参加のほか、小学校や環境工場などで温暖化防止啓発の出前講座も行っています。

3 研修会や活動報告会への出席

市推進センターが開催するCOOL CHOICEや省エネ方法などについての研修や年1回の活動報告会へ出席しています。



COOL CHOICE等の座学の後、地元食材を使った鍋でウォームシェア研修(市推進センター主催)

募集

熊本市では推進員の募集を行っています
本市では、4期目の推進員の任期が令和4年(2022年)3月で満了することから、現在5期目の推進員を令和4年2月7日まで募集しています。ぜひ、皆さんも推進員となって一緒に温暖化防止に向けた活動を始めませんか。詳しくは市のホームページをご覧ください。

熊本市地球温暖化防止活動推進センターより

今年からゼロカーボンアクションに取り組みませんか

できることから始めよう! 暮らしを脱炭素化するアクション

各地で異常気象が発生する中、気候変動という地球規模の課題の解決に向けて、日本は、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」(2050年までに温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにすること)を目指しています。

なお、熊本県においては令和元年12月に「2050年熊本県内CO₂排出実質ゼロ」を宣言し、熊本連携中枢都市圏(18市町村)においても令和2年1月に「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指すことを宣言しています。

この高い目標の達成に向けて、社会の仕組みを大きく変えていくことに加えて、日常生活の中で、一人一人のライフスタイルに合わせて、できることがあります。また、暮らしを脱炭素化することで、快適やおトクといったメリットにつながることもあります。

まずは具体的にどんなことをすればいいのか、それが「ゼロカーボンアクション」の30項目です。できることからゼロカーボンアクションに取り組みませんか。

ゼロカーボンアクション30

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。「ゼロカーボンアクション30」にできるところから取り組んでみましょう!

エネルギーを節約・転換しよう! 1 再生エネルギーの切り替え 2 クールビズ・ウォームビズ 3 節電 4 節水 5 省エネ家電の導入 6 宅配サービスできるだけ一回で受け取る 7 消費エネルギーの見直し	太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう! 8 太陽光パネルの設置 9 ZEH(ゼッチ) 10 省エネリフォーム 11 窓や壁等の断熱リフォーム 12 蓄電池(車載の蓄電池) 13 省エネ給湯器の導入・設置 14 暮らしに木を取り入れる 15 分譲も賃貸も省エネ物件を選択 16 働き方の工夫	CO₂の少ない交通手段を選ぼう! 17 スマートムーブ 18 ゼロカーボン・ドライブ	食口をなくそう! 19 食事を食べ残さない 20 食材の買い入れや保存等の食品ロス削減の工夫 21 旬の食材、地元の食材でつくった惣菜を取り入れた健康な食生活 22 自宅でコンポスト
環境保全活動に積極的に参加しよう! 23 植林やゴミ拾い等の活動	CO₂の少ない製品・サービス等を選ぼう! 24 脱炭素型の製品・サービスの選択 25 個人のESG投資	3R(リデュース、リユース、リサイクル) 26 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う 27 修理や修繕をする 28 プリマ・シェアリング 29 ゴミの分別処理	サステナブルなファッションを! 30 今持っている服を長く大切に着る 31 長く着られる服をじっくり選ぶ 32 環境に配慮した服を選ぶ

出典:環境省 COOL CHOICEホームページ

令和3年度9月作成 環境省

熊本市地球温暖化防止活動推進員より

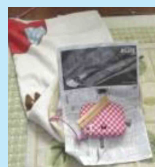
Report ミノムシから学ぶ 我が家の暖房対策



ミノムシが、自分の身の丈に合った防寒着を作っていることに感心し、我が家が居間や隣接する和室の広い空間を大型エアコンで暖房していることを改善できないかと考えました。そこで、ミノムシをまねして——ミノムシ暖房!

1. 古毛布で足元から腰当たりまでの袋を作る
2. アンカと温度計を二つ折りした新聞紙に挟み、袋底部にセットする
3. 足元、膝、腹部をポカポカの状態にし、上半身は厚着を着る

測定した温度は、足元が40℃~42℃、膝部が37℃~38℃、お腹・腰が32℃。その結果、ミノムシ暖房で室内温度6℃でもエアコンは必要ありませんでした。



古毛布でつくった袋にアンカと温度計をセット

熊本県「くまもとCO₂ゼロびっくアイデアコンテスト」で特別賞を受賞しました!

対策による効果

	対策前	対策後
電気使用量	3,298kWh	2,420kWh
電気料金	40,516円	38,477円
CO ₂ 発生量	1,055kg	774kg